

## 安全・安心な街の実現を目指し、みなとみらい21地区の民間企業・関係団体による共助の取組みが本格始動！

東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、みなとみらい21地区において『災害への備え、協力などソフト面を含めた安全・安心な街の実現』を促進させることを目的として、地区内の企業と行政が連携して、186haにわたる我が国最大級の地域を対象としたエリアマネジメントによる「みなとみらい21地区防災エリマネ推進委員会」を設立し、防災対策を本格的に推進します。

### 今回の取組の特徴・意義

みなとみらい21地区は、地盤の液状化対策、耐震性の高い共同溝や建物整備など、**災害に強い街としてのハード面での強み**を備えています。

さらに、「一般社団法人横浜みなとみらい21」を中心に**エリアマネジメント(\*)を推進しているという特徴**も併せ持っています。

こうした地区の強みや特徴を活かして、**帰宅困難者対策や情報受伝達体制の強化、医療機能の確保**など、地区内の民間企業・関係団体が連携して**総合的な共助の取組み**を進め、みなとみらい21地区の**防災性の一層の向上**を図ります。

### 組織の名称・設立年月日

名称：「みなとみらい21地区防災エリマネ推進委員会」

設立：平成26年12月11日（木）

### 具体的な取組み

自助・共助の仕組みづくりと意識啓発

- ・合同防災訓練の実施
- ・災害時の行動ルール検討 など

情報受伝達体制の強化

- ・地区内の全施設との情報受伝達体制の強化
- ・地区内施設との情報共有サイト構築検討 など

帰宅困難者・滞留者対策の推進

- ・地区内受入場所の体系的整理 など
- ・外国人対応意思疎通カードの作成検討

医療機能の確保

- ・医療機関との連携
- ・共助による患者搬送の検討 など

関係機関との連携強化

- ・行政機関や報道機関との連携強化 など

### これまでの取組

合同防災訓練を、阪神・淡路大震災の発生を踏まえ、平成7年度から毎年度実施中。

防災情報の提供として、「大地震への備え」や「防災・減災への備え」、「防災ガイドマップ」を作成し、ホームページに掲載中。

(\*)エリアマネジメントとは

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための関係者による主体的な取組



合同防災訓練（平成26年3月）



普通救命講習（平成26年10月）



給水訓練（平成26年11月）

## みなとみらい21地区



### 「みなとみらい21地区」について

みなとみらい21地区は『横浜の先端都市』でありながら、「海」、「港」、「広々とした空」があるオープンな空間であり、心地よい時間を過ごすことができる都市です。子どもから大人まで。遊び、ショッピング、デート、仕事、知的興味、観光…といった様々な目的を持った方の期待に応えられるような魅力ある街づくりを目指しています。

### 「一般社団法人 横浜みなとみらい21」について

みなとみらい21地区内の土地・建物所有者、施設管理運営者等により構成され、みなとみらい21地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図るため、街づくりや環境対策、文化・プロモーション活動などを通じて、みなとみらい21地区全体のエリアマネジメントを行っています。

理事長：友田 勝己



#### 【基本理念】

##### ！多様な活動が共存し豊かな都市文化を醸成する

多様な活動が共存しお互いに影響し合うことで、みなとみらい21ならではの豊かな都市文化を育み、内外の人々がそれを享受できる街を目指します。

##### ！安全で高質な心地よい都市環境を形成する

世界に誇りうる端正で風格を持った都市景観、その場に身を置くことで愉しさと心地良さを感じることができる都市の環境の形成を目指します。

##### ！「みなとみらい21」のブランドを育成・確立・発信する

この街に係わる様々な立場の人々が街に愛着を持ち、誇りを感じるような地区のブランドを形成し、広く世界へ発信します。

#### お問い合わせ先

一般社団法人横浜みなとみらい21 企画調整部企画調整課長 浜谷 英一 電話045-682-4404